

1. 科目名 (単位数)	レクリエーション理論 (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	濱野 ゆうり		
4. 授業形態	講義・演習 (配布資料または参考書を用い、ディスカッションやワーク、実技を行う)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	レクリエーション関係の授業を履修すると理解が深まる。		
7. 講義概要	<p>健康づくり、保育、教育、地域づくりなど幅広い領域で用いられているレクリエーションについて、これからの社会の課題などと関連させながら学習する。また、様々な対象(幼児・児童・生徒・成人・高齢者など)に対応したレクリエーション援助の意義について理解するとともに、多様な場面での対象者にふさわしいレクリエーション支援の技術(個別・グループ・環境)を実践的に身に付け、活用できるようにする。</p> <p>授業では基礎理論とその実践を、対象者を挙げながら講義していく。また、レクリエーションの企画・運営の演習を交えながらレクリエーションの意義を学ぶ。特に、対象の背景や特性からレクリエーションの目的・目標や、どのようなレクリエーションプログラムが適切かを考え、それを実践し評価・反省することにより、レクリエーション支援の理論を学習していく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格の取得を目指す(取得希望者)。 2. レクリエーションの基礎理論を理解し、説明できる。 3. 様々な現場での様々な対象者にあつたレクリエーションの援助方法を知る。 4. レクリエーションの企画・運営ができる理論・知識を身につける。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>中間レポート：アセスメントに基づいたプログラム計画の提出(グループ活動版)</p> <p>中間レポート：アセスメントに基づいたプログラム計画の提出(個人版)</p> <p>期末レポート課題 「アダプテッドスポーツ」についての発表、もしくは「ニュースポーツの実践」発表、『街歩きMAP』を作成し、個々に提出する。(詳細については講義で説明する)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】適宜資料を配布します。</p> <p>【参考書】 レクリエーション支援の基礎(第2版) 日本レクリエーション協会 2008 教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学 齊藤まゆみ編著 大修館書店 2018</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レクリエーションの特質を捉えて、自己への挑戦・前向きな姿勢(出席状況含む)を評価基準とする。 2. 実技発表への取り組み姿勢と分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 3. 授業を振り返り、レクリエーションへの考え方や自己への課題を前向きに捉えることができたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加態度 50% (出席状況や意見発表を含む) 2. 実技発表・課題レポート 40% 3. 振り返りのレポート 10% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>レクリエーション支援者は、ホスピタリティーの精神が必要です。支援者みんなが楽しめるような雰囲気づくりを心がけてください。</p> <p>グループ活動には、しっかりと時間を割り、資料収集を十分に行ってください。実践準備は、授業内だけで完結することは困難です。グループでの検討や作業は授業時間外の準備を怠らないことを望んでいます。この活動は、評定の方法の「授業への積極的な参加態度」に反映します。</p> <p>授業は、教員からの一方的な講義ではなく、学生自身が考えを発表したり、実践したりする双方向型の授業とするため、以下のような基本的ルールを守ることを原則に履修してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、活発な授業への参加態度を望む。楽しい雰囲気での学習することを心がけること。 2、実技をする場合は、動きやすい服装(Tシャツ、ジャージ、運動靴など)で参加すること。また、どのような年齢の人の前に立っても失礼のない身だしなみで参加すること。 3、時間厳守、私語を慎み、実践者に協力すること。 		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーションー授業の概要・進め方ーアイスブレイキング	事前学習	本講義内容をシラバスで把握したうえで授業に臨む。ノートを1冊用意し、全ての講義内容を記録すること。
		事後学習	ヘルスプロモーション(1986年オタワ憲章)が生まれた背景について調べる。
第2回	レジャー&レクリエーションとは？ 休日・休暇の活かし方 レジャー施設の現状と役割	事前学習	休日・休暇の意義とは？また、自分の住んでいる都道府県の条例で定められた祝日を調べ、発表できるように準備しておく。
		事後学習	日本や世界の休日の違いについて調べる。

第3回	現代における生活時間の現状 ・社会における余暇活動—高齢化社会の中で—	事前学習	「健康寿命」の概念について調べ、レジャー・レクリエーションの意義と「健康寿命」にどのように貢献できるかを考察する。
		事後学習	ロバート・J・ハーヴィガーストが示した「人間のライフステージごとの発達課題」について調べ、まとめる。
第4回	アダプテッドスポーツの種類と現状	事前学習	ユニバーサルスポーツとはどのようなスポーツであるかを調べる。
		事後学習	アダプテッドスポーツの種類と現状について考察をまとめる。
第5回	アダプテッドスポーツの種類と現状 ～グループ発表～	事前学習	アダプテッドスポーツの種類について考察する。グループ発表の準備を行う。
		事後学習	グループ発表の準備を行う
第6回	実技演習：グループによるニュースポーツの紹介①	事前学習	カイヨワによる遊びの定義について調べまとめる。
		事後学習	教育現場におけるレクリエーションが果たす役割についてまとめ、ノートに記す。
第7回	実技演習：グループによるニュースポーツの紹介②	事前学習	パラリンピックの歴史について調べ、ノートにまとめる。
		事後学習	パラリンピックの種目を調べて、ノートにまとめる。
第8回	教育現場におけるレクリエーション	事前学習	鬼ごっこ遊びの種類を調べ、3種類選び、それぞれの遊び方をノートにまとめる。
		事後学習	グループ発表活動記録を各自提出する。
第9回	高齢者のレクリエーション①	事前学習	高齢者の余暇活動について調べる。中年期・壮年期のレクリエーション企画を考える。
		事後学習	各班の発表をノートにまとめる。本時の発表内容について、自分の考えを含めた形でノートに記録する。
第10回	高齢者のレクリエーション②	事前学習	高齢者のレクリエーションが果たす役割についてまとめ、ノートに記す。
		事後学習	本時の発表内容について、自分の考えを含めた形でノートに記録する。
第11回	レクリエーション運動を支える制度 —日本・都道府県・市区町村レクリエーションの役割—	事前学習	地域の制度を調べ、発表できるようにする。
		事後学習	様々な地域の制度をまとめノートに記録する
第12回	豊島区内の『街歩きMAP』の立案	事前学習	資料を収集し、グループで相談する
		事後学習	全ての発表について、ノートに記録する。
第13回	豊島区内の『街歩きMAP』発表	事前学習	グループ発表の準備を整える。
		事後学習	MAPを提出する。
第14回	地域におけるレクリエーション活動の意義について	事前学習	地域活動としてのレクリエーションの意義について再考し、ノートにまとめる。
		事後学習	地域の活性化へむけてレクリエーションがどのように生かせるか、また、地域活動で実施できるレクリエーションを考え、ノートに記録する。
第15回	学習のまとめ 市民が現在より活発にレジャー&レクリエーションに参加できる環境づくりの『今後10年間の地域の施策』を考える	事前学習	今後の課題についてまとめ、ノートに記録する。
		事後学習	レポート課題を仕上げ、提出する
15. 実務経験を有する 教員特記事項	中学校および高等学校の保健体育科「保健分野」及び「体育分野」の担当教員として、また、幼児体操教室の講師としての実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		